

審査員のコメント

○審査員 大野市教育長 久保俊岳

「コンビニの1つや2つ、絶対にある。」この言葉は、私が約30年前に中学校の担任をしていた時、「未来の大野を考える授業」で一人の生徒が言ったものです。当時、「そんなことある訳ない。」と他の生徒も私も想像できませんでした。その5年後、大野に初めてコンビニができ、今ではコンビニのない生活は想像できません。若者の未来への想像力の豊かさを実感した出来事です。その想像力をもとに行動することで未来を拓き、そして、創ることができます。

発表を聴いて、細かな気づきを与えてくれた一方で、大胆でインパクトのある発想という点では少し物足りなさを感じました。今後も続く探究活動のなかでパワーアップを期待します。

○審査員 合同会社楽しい学校コンサルタント Second 代表 前田健志

どれも大野愛に溢れ、かつ、独創的なアイデアもあり、ワクワクしながら拝聴していました。ただ、どの班にも言えますが、メリットばかりに目がいており、自分たちの提案のデメリットや問題点の検討が見えてきませんでした。

本当に実現しようと思ったら、こうしたデメリットや壁を乗り越えていかななくてはなりません。メリットしかないのであれば、とうに実現されているはずです。そういった壁を乗り越えていくプロセスそのものに、たくさん学びがあると思います。先行事例を調べる際に、当事者たちがどんな課題や壁を乗り越えてきたのかを、調べてみるといいかもしれませんね。

探究に終わりはないので、皆さんの今後に期待しています！

○審査員 大野商工会議所青年部会長 田中宏直

1年間にわたってのプロジェクト、大変お疲れ様でした。どの提案も素晴らしく、イメージするだけでワクワクしながら拝見しました。皆さんはこのプロジェクトを通じて、ふるさと大野が抱える現状分析と課題解決策の提案ができました。その提案も実現可能性を考えながら、運営方法やPRにも踏み込み、そしてプレゼンへと多岐にわたる経験となったと思います。特に、プレゼンには表れにくい、そこに至るまでのプロセスとチーム力も大変貴重な経験です。このプロジェクトが大野の魅力向上に必ずや繋がり、多くの大野の市民を巻き込んでいくことを期待しております。そして今回の経験が、皆さんの将来に必ずや役立つことも間違いありません。